

令和4年第7回平川市教育委員会会議録（概要）

- 1 開催日時 令和4年7月26日（火）午後1時30分
- 2 閉会日時 令和4年7月26日（火）午後2時57分
- 3 場 所 平川市尾上分庁舎 委員会室
- 4 出席者 （教育長）須々田孝聖
（2番委員）加藤恒有（3番委員）中嶋静賢
（5番委員）工藤甚三
- 5 欠席者 （1番委員）工藤泰子（4番委員）葛西万博
- 6 署名者 （2番委員）加藤恒有（5番委員）工藤甚三
- 7 説明者 一戸事務局長、田中学校教育課長、工藤指導課長、
後藤生涯学習課長、高阪スポーツ課長兼学校給食センター所長
- 8 会議録作成者 葛西学校教育課長補佐、佐々木学校教育課主事
- 9 議事
なし
- 10 各課からの報告
 - (1) 日程等
 - (2) 学校適正配置計画（案）について
 - (3) その他
- 11 会議の概要
午後1時30分に教育長が開会を宣言する。会期を1日とし、会議記録署名委員を前項6のとおり指名する。臨時代理、議案ともになし。
- 12 会議の状況

<p>教育長</p>	<p>これより令和4年第7回平川市教育委員会を開会いたします。案件の説明者は教育委員会事務局長、及び各課長にお願いします。</p> <p>会議録記録者には学校教育課の葛西補佐、佐々木主事にお願いします。</p> <p>委員及び説明者は、発言する際には挙手の上、議長の許可を得てから発言されますようお願いいたします。</p> <p>日程第2、会議録署名委員の決定について議題とします。会議規則第23条に基づき、本委員会の会議録署名者は、2番加藤委員、5番工藤甚三委員を指名します。</p> <p>日程第3、会期の決定について議題とします。本定例会の会期は、本日1日としたいと思いますが、これにご異議ございませんか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>異議なしと認め、本定例会の会期は、本日1日と決しました。</p> <p>日程第4、教育長報告に入ります。</p> <p>(教育長報告の要旨を説明)</p> <p>教育長報告の中で、ご質問ありませんか。(一同なし)</p> <p>それでは日程第5、各課からの報告に入ります。まずは、学校教育課の報告について、質問はございませんか。(一同なし)</p> <p>ないようですので、次に指導課の報告について何か質問はございませんか。</p>
<p>工藤(甚)委員</p>	<p>7月8日に行われた「ICT活用状況視察」について、視察が行われることはいつ決まったのですか。</p>
<p>指導課長</p>	<p>2週間ほど前に依頼がありました。うまく使っているところではなく、実際の様子から現場の困り感、不満や心配ごと等の情報を得て、今後に生かしたいとのことで視察にいらっしゃいました。今年度、金田小学校がICT活用のモデル校となっていることから金田小学校にお願いしました。そのほか、青森市の小学校2校、大学1校、弘前市の工業高校1校も視察されました。</p>
<p>中嶋委員</p>	<p>アーティストのGOMAさん、弘前医療福祉大学教授の児玉有子さんを招いての「平川市小・中学校教職員全員研修講座」で</p>

指導課長	<p>は質問等が上がりましたか。</p> <p>参加者は付箋用紙に、オンライン参加の方はチャットに記入したものを事務局で付箋用紙に書き、それをまとめて児玉先生へお渡ししました。あとは児玉先生が質問の内容ごとに仲間分けし、GOMAさんへ渡してもらいました。</p>
中嶋委員	<p>この研修に限らず、他の研修や会議等においても実際に参加する場合とオンラインでも参加できる場合とがあり、非常によいことだと思います。資質向上を図るうえで、会場での参加でも、オンラインによる参加でも状況に応じた方法で研修の目的を果たすことができるという証明になると思います。このような実践を積み重ねて今後に活かしていただきたいと思います。</p> <p>「平川市小・中学校教職員全員研修講座」が今回のような形で実施した後の各校での意見・感想なども受け止めながら、今後の開催の充実につなげていただきたい。</p>
教育長	<p>他に質問等ございませんか。（一同なし）ないようですので、次に生涯学習課・図書館からの報告について質問はございませんか。</p>
工藤（甚）委員	<p>尾上庁舎利活用ワークショップの活動内容についてお知らせください。</p>
生涯学習課長	<p>4グループに分かれて話し合いをし、それを最後に発表する形をとっております。どのグループからも上がってくる意見として「Wi-Fiがほしい」、「現代はワークスペースが必須である」、「コピー機、パソコン、プリンターといった電子機器の貸し出してほしい」といったものがあります。また、「公的なイベントも民間のイベントも充実させてほしい」といった声もありました。すべての意見を取り入れられるわけではなく、広く意見を募集していますので、24時間開館を望む声や金融機関窓口がほしいといった意見もありました。</p>
工藤（甚）委員	<p>参加者の年齢層はどのようなものですか。</p>

生涯学習課長	町会長2名、議員2名、30歳代から50歳代までの一般の方が10名、読み聞かせ関係者が4、5名ほどおりました。
中嶋委員	平賀図書館の職場体験受け入れについてですが、職場体験を終えた後の生徒の声等があったらお知らせください。
生涯学習課長	職場体験の受け入れですが、図書館だけでなく文化センターでも同時期に受け入れしております、感想文等いただいております。「色々な仕事をしていることが分かって勉強になった」、「図書館では展示についての作業ができて楽しかった」、「将来の仕事の参考にしたい」といった内容でした。
中嶋委員	職場体験では、必ずしも自分が行きたい職場で体験できる生徒ばかりとは限りません。自分が体験により職場で学んだことや、自分は職場体験できなかったが他の職場ではどのような活動を行い学んだのか等を聞き合うことによって、それぞれの体験を今後活かすことにつながるので、校長会等でも話題にして、この体験が今後につながるよう、各校で取り上げて活用してもらいたいと思います。
教育長	他に質問ありませんか。(一同なし) ないようですので、次にスポーツ課からの報告について質問はありませんか。(一同なし) ないようですので、次に給食センターからの報告について質問はありませんか。それでは各課の業務日程に対する質疑を終わります。次に、(2) 学校適正配置計画(案)について学校教育課長よりご説明ください。
学校教育課長	この学校再編計画案につきましては、今年3月23日に開催致しました令和3年度第1回市総合教育会議の中で、平川市立小中学校適正配置の方針について、学校教育課としての今後の取組方針を教育委員の皆様方へご説明させていただいておりましたが、現在までの間、市議会議員の皆様へのご説明はしていなかったことから、先般7月11日に市議会議員向けにご説明をさせていただきました。本日は、その際の資料を使い、今後のスケジュールを含め、教育委員の皆様方へ現在の状況についてご報告させていただきます(資料を基に概要を説明)。

教育長	ただ今の説明に対して、質問ありませんか。
工藤(甚)委員	適正規模の基準の考え方は、国の考え方に依拠するものだと思いますがこの数値は平川市においては理想でしかないと思います。学校教育課の考えをお知らせください。
学校教育課長	国が示している学校適正配置の手引きを基に、地元にあった形にしていきたいと思っております。学校適正配置では、1学年2クラスとなっておりますが、1クラス40人ほどのところもあれば30人程度のところもあります。そういったことを踏まえて適正な1クラスの人員数をはかりながら計画を作っていきたいと考えております。
工藤(甚)委員	東奥日報に青森県の人口減少率が全国でも高いというような記事を読みました。地域に学校がなくなっていったことが、人口減少につながっていったのではないかと考えられています。理想的な教育環境を作っていくということだけではなく、地域の活性化を図っていくためには、地域に学校があることが非常に大事だということも考えながら地域の実情に併せて考えていくことが大事だと思います。相反する悩ましい課題であるだけに、慎重な検討が必要であると思います。
教育長	他に何かありませんか。(一同なし) ないようですので、次に、(3) その他 ということで教育委員含め皆様から何かありませんか。(一同なし) 本日の日程はすべて終了となります。 次回、8月の定例会についてお知らせします。8月の定例会は、8月23日午後1時30分からこの場所で開催することとします。